

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号: 15 事業名: 新産業技術等職業高校教員研修費

| アドバイザー | 評価区分 | 評価内容 |
|----------|-------|---|
| 諸平アドバイザー | 「要改善」 | <p>産業技術の進歩によって継続的に新しい知識を得るための研修を受けて生徒に還元して欲しい。引き続き行って欲しい。ただ、平成23年に同種の事業の統合を行って以後、時間がたっているのでしっかり終期を定めてより効果的な研修内容や対象者の見直しを行って欲しい。</p> |
| 小口アドバイザー | 「要改善」 | <p>職業高校の教員にとって日々変化する技術を修得することは非常に重要なことであり、事業の重要性は高いと考える。今後は、研修内容の充実と、全ての教員が一定期間内に受講できる仕組みが必要だと言う観点から要改善とした。</p> <p>研修内容の充実については、企業との連携の強化が必要と考える。産業労働部のいろんなネットワークを活用して研修の拡充を進めて欲しい。</p> <p>研修の成果を向上させるには、研修前の面談、研修後の内容の確認やフォローが有効と考えられるので、アンケートの見直しを含めて研修の前と後の仕組みを充実することが必要である。</p> <p>商業、工業系の教員の参加率が低くなっている。3年に一度は必ず受講できるような計画作成と運営の改善を含め、中期的な計画に基づく研修に取り組んで欲しい。</p> |
| 五味アドバイザー | 「要改善」 | <p>めまぐるしく発展する産業技術を身につけ授業に取り入れていくのは大変なこと。にもかかわらず研修期間が短すぎる。特に独立行政法人教員研修センター主催の研修と新産業指導者養成研修の研修期間が短くて、技術の習得が可能なのかと感じてしまう。単発的な研修ではなく、知識技術の習得からそれを授業にどのように取り入れて、生徒の知識技術の向上に役立つものになるか、系統的な研修制度が必要ではないか。</p> |

| | | |
|----------|--|---|
| 五味アドバイザー | | <p>また、新産業技術等職業高校教員研修において、企業への研修に参加した場合には、その企業が求める人材がどのような資質を必要としているかという情報も得ることができる。県内の人口減少が課題となっている中で、県内企業への就職率が高い一方、3年以内の離職率が4割を超えているという現状をみると、引き続き県内就職者を確保し、その後の離職者にも対応できる体制に役立つのではないかと考える。</p> |
|----------|--|---|